

協働と連携のまちづくり・奈良モデル（三郷町）

観光と福祉の連携プロジェクト

～生ごみから製造した肥料を活用し、
花や野菜の苗を生産・出荷～

- ・ごみの減量化
- ・焼却時使用燃料の軽減
- ・CO2の削減
- ・焼却施設の長寿命化

生ごみ 資源化

【リサイクル・フラワー&ベジタブルセンター】



分解
・活用



分解された水を液体肥料として活用し、花や野菜の苗を生産

信貴山地域の一般家庭・事業所等から排出される生ごみ

出荷

(観光協会・自治会)

観光事業として、信貴山地区全体を一つの庭と捉え、
大門ダムを中心に、ダム周辺や道路に植栽し、庭づくりを展開する。

信貴山「四季彩の庭」づくり

ルビナス・春



四季を通じて

コキア・秋



四季折々の花を植栽

百日草・夏



どの時期に訪れても

パンジー・冬



きれいな花が咲いている

奈良県植栽計画との協働・連携

2010.1 ~

佐藤ひづる

三郷町、王寺町が連携した観光振興・健康増進

Concept — 基本概念 — 効率的・効果的な行政施策～財源の確保、社会保険費の抑制～

三郷町は8.8平方キロメートル、王寺町は7平方キロメートルという小さな面積で、自然に恵まれた住環境の中で大きな企業進出や誘致も難しい状況であることから、小さな町が連携して、観光振興や健康増進に取り組み、地域経済の活性化による財源の確保、社会保険費の抑制などの協力体制を図り、「まち・ひと・しごと創生」につなげていく。

Tourism Promotion — 観光振興 —

大阪市内や関西国際空港にも近く、来年の伊勢志摩サミット、5年後の東京オリンピック、6年後の太子1400年春遷忌など、観光振興による地域の活性化は地方創生への一番の効果になる。

●地域資源である聖徳太子ゆかりの「歴史文化遺産」、「公共交通の利便性」を活かし、観光振興施策を展開

王寺駅・・・世界遺産の法隆寺、信貴山の輪屋孫子寺まで約3km
大阪市内まで約20分、奈良まで15分、関西国際空港まで約60分 → 交流人口増加、消費拡大

- ・王寺周辺の歴史、観光スポットや行事を紹介する「雪丸ミニプラザ」を開設
- ・大和の歴史学会を代表する講師陣による「歴史リレー講座 大和の古都はじめ」を開講
- ・信貴山観光ボランティアガイドグループによる輪屋孫子寺境内の主な名所案内
- ・王寺観光ボランティアガイドの会による達磨寺定点ガイド
- ・王寺町観光協会、信貴山観光協会が連携して、「聖徳太子ゆかりの地周遊ツアー」の企画、PR
- ・王寺駅周辺での宿泊施設や、奈良らしい周辺施設の集団を図る基本計画を策定予定

Attractive creation — 魅力創造 —

「歴史文化遺産」、「交通の利便性」のほか、古く道開使も利用した「大和川などの水辺空間」、「信貴山、明神山などの自然」を活かし、これらをつなぎ、まちの魅力を向上させる。

Point 1 「お土産物販売」

大阪、奈良からの鉄路の玄関口であるJR王寺駅から達磨寺へのアプローチを整備

- ・雪丸の足跡、案内板やポールサイン、花々の植栽などで訪れる方々の心を和ませている「雪丸ロード」
- ・王寺町のシンボル「雪の城」周辺に新たに設置の、姫の空間を演出する「雪丸モニュメント」
- ・訪れる方々を雪丸がお出迎えするように、JR大和路線の車窓から見える「雪丸を描いた巨大パネル」

Point 2 「大和川等水辺空間」

国土交通省大和川河川事務所、三郷町、王寺町が昨年8月に「大和川利活用検討懇談会」を立ち上げ、2月からは奈良県も検討に加わり、連携して大和川流域の環境整備に取り組んでいる。

●ハード面

- ・大和川において、三郷町、王寺町の西岸を周遊する4kmのジョギングコースを整備。
三郷町・・・信貴山大門ダム周辺に桜や紅葉などを植栽
- ・王寺町・・・大和川に花畠、大和川に注ぐ葛下川堤防に樹木や木造を植栽、
また、散策途中に公衆トイレを設置する。

国土交通省・・・河川内樹木の伐採、大和川に注ぐ信貴川に渡河構造設置
奈良県・・・葛下川橋門横断施設

●ソフト面

- ・「きれいな大和川」を取り戻す活動
「大和川水環境協議会」関係機関、地域住民の連携・協働により、大和川下流でアユの遡上が確認されるほどに水質が改善、河川敷の雑木伐採、漂着ゴミの回収などの大和川リレー美化活動
- ・「王寺ミルキーウェイ（天の川）」・・・地域特性である「水辺空間」と「歴史空間」を活かしたイベントの開催
【達磨寺】燈火会、音楽演奏 【王寺小学校】ゆるキャラショー、県内外市町村の模擬店、音楽演奏
【役場周辺】ラーメン博、プロジェクトマッピング
【葛下川】太陽光蓄電LEDの光の球“いのり星®”の放流、フィナーレに花火
→王寺周辺地域のみならず、多くの方々が来場され、イベントを満喫されるなど、賑わいの創出を図る。

Health Promotion — 健康増進 —

住民が健やかにいきいきと生活を送れるように「健康長寿」をめざして、様々な病気の予防効果が期待できる最も基本的な運動である「歩く」健康づくりを進めている。

Point 1 「大和川河川沿いのジョギングコース整備」

- ・水と緑、花の親水空間として、歩きたくなるような美しい景観、ジョギングコースを整備
- ・訪れる観光客の散策の場づくり
- ・運動習慣がない方も、気軽に運動を始めたり、ジョギングなどの体力づくりの場
→年齢やそれぞれの体力に応じた運動習慣の醸成が期待でき、
三郷町、王寺町のみならず、多くの方の利用が見込まれる。



Point 2 「奈良県健康ステーション」

王寺駅に直結の王寺町地域交流センターにオープンした、誰もが気軽に利用できる健康施設

- ・「体組成計」、「血管年齢計」、「骨健康度測定器」、「血圧計」などの最新健康機器を用いた無料チェック、「活動量計」の2週間体験

→Point1の運動習慣の醸成とともに多くの方が利用することで、生活習慣病の予防や改善につながる。

Point 3 「ハート・ソフト力による開拓」

三郷町、王寺町が連携して各種イベントを開催

- ・運動習慣のステージごとに参加できるよう、「健康ウォーク」、「マラソン大会」、「駅伝大会」を開催
→健康増進、体力づくりの場として活用し、医療費など社会保険費の抑制にもつなげていく。

Conclusion — おわりに —

このように、歴史や文化、自然に親しみながら健康増進や観光客の増加を図るために、国土交通省、奈良県、三郷町、王寺町が連携して事業を進めるものである。

三郷町・王寺町大和川ジョギングコース整備イメージ図

平成27年9月22日 王寺町 奈良モデル

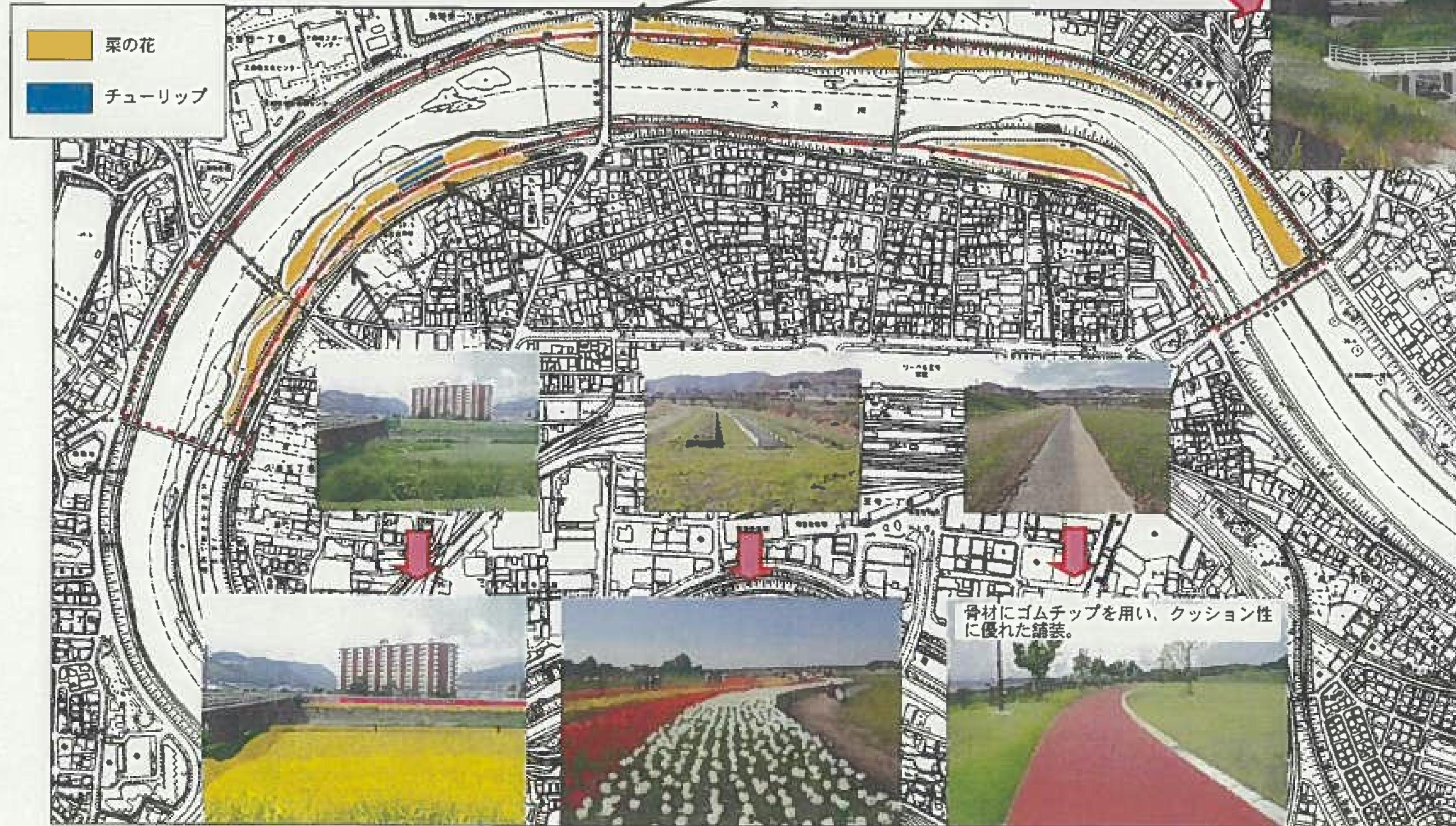
資料②

三郷町・王寺町の大和川高水敷や堤防を利用した、【一周約4kmのジョギングコース】を整備し、四季折々の花を楽しめる花回廊や、ジョギングなどによる健康促進が期待できる快適な水辺空間となるよう整備を行う。

- 平成26年8月に大和川河川事務所と王寺町・三郷町で「王寺町・三郷町大和川利活用検討懇談会」を設置。
- 平成27年2月には、奈良県も検討会に加わった。
- 平成27年度中に一周約4kmのジョギングコース（右岸側三郷町、左岸側王寺町）を整備。
- 平成27年度中に植栽整備（左岸側王寺町）。



国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所による信貴川合流部の渡河構造（ボックスカルバート）設置



奈良モデルを活用した 基幹システム共同化について



河合町

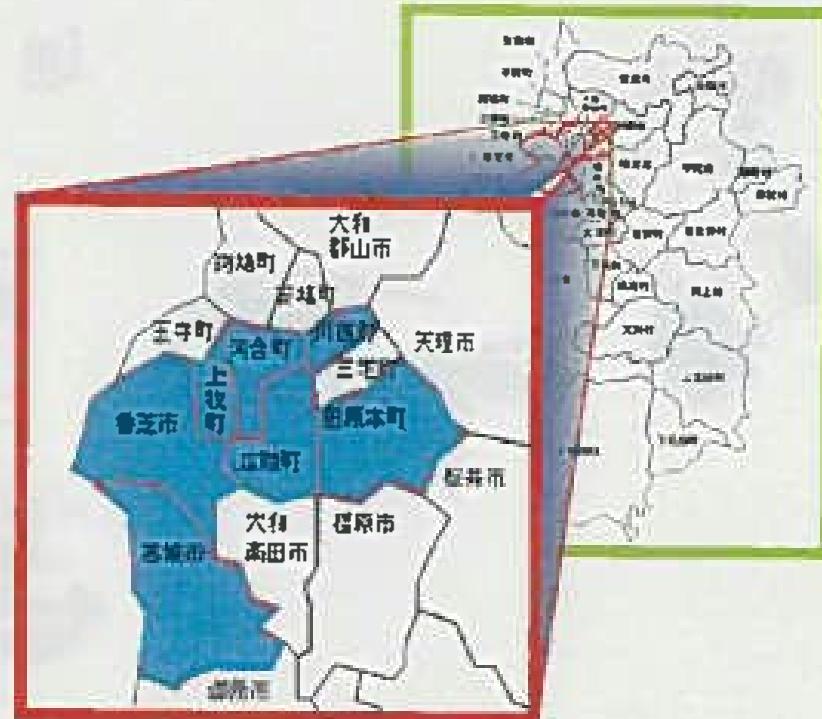
奈良県
あなんじゅう

導入の背景

財政難、人材難の中で多くの行政サービスを実現していく必要があった

河合町を含む県北西部の2市5町では、「システム関連経費の削減」を目的に、奈良県基幹システム共同化検討会を立ち上げ、奈良モデルの枠組みの中で県と協働して取り組み、クラウドサービスを活用した基幹系業務システム共同利用を短期間のうちに実現しました。

財政難、人材難の中で、システム関連コストの削減が最大の課題となっていたことや、大型コンピューターを利用しているシステムでは、今後も多額の経費が必要になることなどへの対策から、今回の共同化を強力に推進することにしました。



《構成市町》

香芝市・葛城市・川西町・田原本町・上牧町・広陵町・河合町

人口規模 2市5町（約9千人～7万5千人）・・・人口総数約23万人

◎互いに地続きで従来から各行政分野で連携関係（旧北葛城郡・磯城郡）

◎共に財政難・人材難の中で、システム関連経費の削減が最重要課題



共同化を進めた理由

- ① 各団体ともそれぞれ財政難、人材難の中で多くの業務あるいは行政サービスを実現していく必要があり、その中で、システム関連コストの削減が最大の課題となっていた。
- ② 大型コンピュータを利用しているシステムでは、今後も多額の経費が必要になること。
- ③ システム維持のための職員の負担が大きいこと
- ④ システムを担当する職員の高齢化や、それに伴う人材難などへの対策
- ⑤ 大規模な法改正への対応
- ⑥ システムのセキュリティ対策の確保

対象業務

- | | | | | |
|---------------------|----------------------|------------|------------|-------------|
| 1. 住民基本台帳 | 2. 外国人登録 | 3. 印鑑登録 | 4. 選挙 | 5. 学齢簿 |
| 6. 個人住民税 | 7. 法人住民税 | 8. 固定資産税 | 9. 軽自動車税 | 10. 宛名・納付管理 |
| 11. 収納管理 | 12. 滞納管理 | 13. 保育所保育料 | 14. 幼稚園保育料 | 15. 国民年金 |
| 16. 国民健康保険 | 17. 後期高齢者医療 | 18. 福祉医療 | 19. 介護保険 | 20. 子ども手当 |
| 21. 住宅使用料（参加市町にて選択） | 22. 児童扶養手当（参加市町にて選択） | | | |



共同化の経緯

オープンシステムへの移行

奈良県基幹システム共同化検討会の立ち上げ

- 汎用機(大型コンピューター)によるシステムからオープンシステムへの移行
 - ハードの更新時期
 - システム開発経費の増大
 - システムの複雑化、標準化
 - 大幅な制度改正への対応
- 首長研修会(H21.10)が契機
 - 山形県置賜地域の事例を参考
 - 河合町と葛城市的首長が呼び掛ける形でスタート
 - 各団体の情報政策担当部門へ参加打診活動を開始(約3ヶ月間)
 - 結果、参加同意団体で「基幹システム共同化検討同意書」を作成
 - この段階では共同で検討することにのみ同意(団体間に温度差大)
- 奈良県基幹システム共同化検討会発足(H22.1.14)
 - 会則制定、負担金徴収(コンサル雇用)
 - 8月まで検討を重ね、調達参加の是非を「協定書」で確定
 - 県の関係部局や県CIO補佐官の支援を仰ぐ



活動経緯

- 主な会議体

- 役員会(全首長) 開催時に奈良県来賓参加<1月、8月、12月>
- 月2回の構成市町情報政策担当課長及び県CIO補佐官による幹事会

- 主なイベント

- 平成22年3月、7月 先進事例研修 「国の自治体クラウド施策の動向」等講演会参加
- 平成22年4月 コンサル業者選定のためのプレゼンの実施(県補助金を活用)
- 平成22年6月 ベンダー4社のデモの実施
- 平成22年7月 ベンダーRFP(提案説明書)説明会
- 平成22年8月 先進地視察研修 山形県置賜地区 山形県長井市他
首長への報告会 報告書に基づき参加意向を決断
7団体で協定書締結
- 平成22年8~9月 業者選定作業着手 調達仕様書・要件定義書・選定基準の策定
- 平成22年9月 指名型総合評価方式的プロポーザルによる調達実施
- 平成22年12月 業者決定により、プレス発表を実施(NECに決定)

～順次システム移行作業、標準化を実施～

- 平成23年5月 河合町にて本稼働
- 平成24年1月 川西町にて本稼働
- 平成24年4月 葛城市、香芝市、田原本町、広陵町にて本稼動
- 平成25年2月 上牧町にて本稼働 ※検討会を構成する全団体でシステム稼働



導入の成果

システム運用コストを全体で約50%削減、住民サービスの向上に活用

経費シミュレーション

河合町

団体名	A	B	C	D	E	F	G	7団体合計
人口(人) 平成22年10月1日現在	75,891	36,425	8,901	33,044	24,235	34,115	19,243	231,854
共同化費用 (新システム)	本稼動年度 H24年度	H24年度	H24年度	H24年度	H25年度	H24年度	H23年度	
	利用年数(年)	9	9	9	8	9	10	
	一時経費	127	58	38	79	81	77	521
	経常経費(年間)	47	33	20	33	24	33	25
	H32年度まで総額	550	355	218	376	273	374	2,457
データ移行費	一時経費	100	46	30	40	19	29	264
現行運用経費	H32年度まで総額	2,108	1,036	422	895	425	619	720
コスト削減	コスト削減率(%)	69%	61%	41%	54%	31%	35%	57%
								56%

注)データ移行費はあくまで概算です。現行運用経費には、人件費・光熱水費等は含まれていません。【単位:百万円】

- スケールメリットによる費用低減
- 割り勘による改修費用低減
- 担当職員の負荷軽減
- 業務の標準化/共通化(BPR)
- 帳票・書式などの様式統一
- 新しい住民サービスの開始(コンビニ収納)
- クラウドによる災害時のデータ保全 等



新たな共同化の取り組み

システムの更新、新規導入時には「まずは共同化を検討する」

- 基幹システム共同化の成功により、その他の業務を次々に共同化、クラウド化する事に成功。

業務名	構成団体	河合町稼働年月
基幹システム	香芝・葛城・川西・田原本・上牧・広陵・河合	平成22年3月
財務会計システム	広陵・河合	平成23年8月
図書管理システム	葛城・河合	平成24年6月
水道企業会計システム	香芝・葛城・五条・御所・上牧・河合	平成25年4月
戸籍システム	香芝・葛城・川西・田原本・上牧・広陵・河合	平成26年4月
障害福祉システム	香芝・葛城・川西・河合	平成26年4月
人事給与システム	葛城・広陵・上牧・王寺・河合	平成26年7月

